

阪教総 6 4 1 号
令和 4 年 3 月 2 4 日

阪南市立学校のあり方検討委員会
会 長 様

阪南市教育委員会
教育長 橋 本 眞 一

阪南市立学校のあり方検討について（諮問）

本市の小中学校については、より良い教育環境をめざし、平成 1 8 年 1 1 月に「阪南市立小中学校及び幼稚園の整理統合整備計画」を策定し、学校規模の適正化や施設改修などの教育環境の改善に取り組んできました。

小学校については、平成 2 9 年 4 月に東鳥取小学校と波太小学校の統合、中学校については令和 2 年 4 月に鳥取中学校と尾崎中学校の統合をもって、小中学校における計画の全てを完了したところです。

一方で、想定以上の少子化の進行により、すでに適正規模に満たない学校園があり、統合と合わせて行った施設改修についても、新耐震基準の建物を中心に老朽化対策が必要となっています。

また、社会全体が急速に変化するなか、子どもを取り巻く教育環境も大きく変化し、多くの教育課題が山積している状況にあります。

教育委員会としましても、一定規模の児童生徒集団を確保し、バランスのとれた教職員集団を配置するなど、これまでの取組を踏まえながら、本市の小中学校が抱える課題を整理したうえで、検討していく必要があります。

以上のことから、本市の新たな整理統合・整備計画のための今後の小中学校のあり方について、下記の事項を貴検討会に諮問いたします。

記

1. これからの時代に即した本市がめざすべき教育のあり方について
2. 今後の児童生徒数の状況、地理的条件および地方交付税の算定基準等を踏まえた本市がめざすべき教育にふさわしい学校数と配置について
3. 前号に掲げるもののほか、阪南市立学校の小中学校のあり方の検討を進めるため、重要と認める事項